

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
 支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目 1-17
 編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成23年11月30日発行

第89号

東関東大震災、真夏の節電協奏曲が嘘のように日々が過ぎ去っています。地震、大雨、台風と今年は例年に増して自然災害が目立った年でした。原発事故の福島をはじめとする被災地の方々の苦労はまだまだ続いております。決して被災者のことを忘れずに少しでも何かできるものはないか考えることが大切ではないでしょうか。

懇親会のご案内

※懇親会開催のおしらせ※

☆今年最後の懇親会です。みなさまにとって2011年はどのような年だったのでしょうか、寒さを吹き飛ばし今年一年を振り返り語り合しましょう。

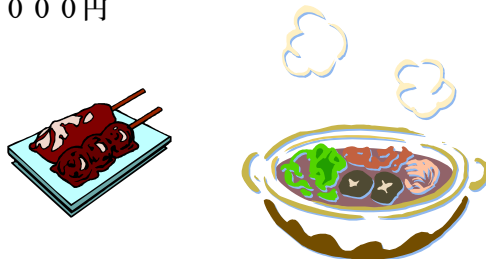
みなさんの参加をぜひお待ちしております。

日時：平成23年12月17日(土) 17:30より

場所：居酒屋 天狗 047-425-1268

船橋市本町4丁目1-15 快美壺番館2階

会費：3,000円



申込先：別途案内はお送りいたしません。

12月15日までに、鈴木伸一 会員

Tel : 090-5446-2808 Fax : 04-7133-1303まで、最終面の申込書でお申し込みください。(メール shin_suzuki@nifty.com でも結構です) 多数のご参加をお待ちしております。

12月度 研修会ご案内

日 時 平成 23 年 12 月 17 日(土) 15:00～17:00

場 所 船橋市中央公民館 第6集会室

テーマ 「研究会活動中間報告」

講 師 コンサルティング研究会、農業観光研究会、エコ研究会

本年最後の月例研修会は、支部のコンサルティング研究会と農業観光研究会、エコ研究会の活動報告です。コンサルティング研究会では、社長への提言ということで、(社)千葉県経営者協会、商工会議所を通じて一般企業に向けて、社長、経営層に向けたセミナーを実施しています。また、農業観光研究会では、前年の勉強会から一歩進めて、より具体的な種まきを実施して、少しずつですが、目に見える成果がでてきております。両研究会とも事業化の一手前まで来ていますので、皆様のご協力をぜひお願いいたします。

また新設のエコ研究会では参加者を募っております。ぜひご参加ください。

これらの活動の報告や、今後の活動について説明していただきます。ご期待ください。

また研修会后、懇親会を用意してございますので、こちらも併せてご参加ください。

イノベーションアワード2011受賞企業のお知らせ

10月15日、全国研究会議鹿児島大会(城山観光ホテル)において、第2回ビジネス イノベーションアワード2011が開催されました。詳細は本部ホームページ等で公開されていますが、昨年の協和工業株式会社殿(経営・技術革新分野の優秀賞)に続き千葉支部推薦のいすみ鉄道殿が大賞を受賞いたしましたので皆様にお知らせいたします。受賞理由は以下の通りです。

いすみ鉄道株式会社殿 「“観光鉄道化”戦略で、地域活性化と鉄道事業の存続に貢献」

1987年にJR木原線を引き継いだ第三セクターの鉄道事業者として創立。路線は大原～上総上野。

開業以来、赤字経営が続き存続をかけて2008年から2年間の収支検証期間が設定された。経営立て直しのため2007年社長を一般公募し、吉田平氏が就任、その後2009年に鳥塚亮氏が二代目公募社長として就任した。

オリジナル商品の販売、ムーミン列車、車両販売、訓練費自己負担による運転士公募など次から次にアイデアを出し観光ビジネスを創案、知名度向上、業績改善に努めた結果、2009年存続が決定した。2010年度には鉄道運行部門の黒字化を達成するなど、大幅な業績改善を実現した。

<http://isumi.rail.shop-pro.jp/?day=20111017>

<http://www.keieishi-chiba.org/announcements/openSeminar20101206.html>

会議・研究会開催報告

■ 支部幹事会

第1回支部常任幹事会

平成23年6月5日(日) 13:00~16:00

場 所 船橋勤労市民会館 喫茶室ぶれいす

参加者 西村 豊、山田 一、山下恭司、鶴岡義明、鈴木伸一

1. 賛助会員勧誘について
2. 月例報告
3. 定款変更への対策
4. 今後の研修実施案について
5. 中小企業啓発セミナー実施について
6. 次年度以降の定時報告会の開催方法についての検討
7. 千葉の「食」産業協議会活動経緯
8. 千葉県地域活性化ーいすみ鉄道訪問について

第2回支部常任幹事会

平成23年6月26日(土) 13:30~17:00

場 所 船橋勤労市民会館 喫茶室ぶれいす

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、山下恭司

1. 今後の研修会の進め方について
2. 中小企業会計啓発・普及セミナーの進め方について
3. 全国研の対応について
4. 北関東フォーラムについて
5. ハンチャークラブ千葉の参加について
6. コンサル研(大久保会員)の経営者協会講演会開催
7. エコ研の立ち上げ方について
8. アグリトップランナーの企画書提出について

第3回支部常任幹事会

平成23年11月5日(土) 15:00~17:00

場 所 船橋勤労市民会館 喫茶室ぶれいす

参加者 西村 豊、山田 一、山下恭司、鶴岡義明、鈴木伸一

1. 全国研参加報告
2. 定款変更の件について
3. 本部幹部会報告
4. 北関東フォーラム参加報告
5. 木更津のファーム見学報告
6. 千葉県地域活性化ー新能開催について

7. セールスレップ協会からの委託事項について
8. MPP リーダー育成について
9. 新体制支部役員案の検討

第2回支部幹事会

平成 23 年 6 月 25 日(土) 13:00~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、中嶋清介、小塚彦明、榎田 國男、林 久雄、
千葉道生、上條靖芳、山下恭司、岩野邦久、鶴岡義明、藤江隆平

1. 総会の報告
2. 常任幹事会の報告
3. 公開講演会講師の情報照会
4. 本部報告
5. その他

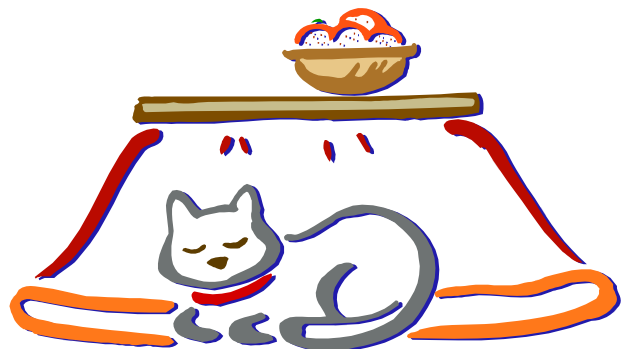
第3回（臨時）支部幹事会

平成 23 年 8 月 27 日(土) 13:30~15:00

場 所 船橋市 中央公民館

参加者 西村 豊、鈴木伸一、山田 一、大塚亜喜雄、林 久雄、榎田 國男、山下恭司、鶴岡義明、
岩野邦久、藤江隆平

1. 連絡事項
 - (1). 全国研鹿児島大会開催について
 - (2). 北関東支部より、北関東フォーラム（信州松本再発見）開催について
 - (3). 中小企業白書公開セミナー開催について
 - (4). 会計セミナー開催について
 - (5). パソナからの依頼について
 - (6). 支部長ブロック理事会議開催について
2. 今後の研修の進め方について



記事ご協力をお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 090-5446-2808 FAX : 04-7133-1303

MAIL : shin_suzuki@nifty.com

■ 研修会

6月度月例研修会

平成 23 年 6 月 25 日(土) 15:00~17:30

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ 財務諸表から学ぶ

講 師 山下恭司 会員（平成 23 年 3 月入会）

参加者 高野充昭、新見健司、中野周行、上條靖芳、中嶋清介、小塚彦明、千葉道生、鶴岡義明、林 久雄、大塚亜喜雄、藤江隆平、西村 豊、南 寛保（東京支部）、高橋弘道（南関東支部）、山田 一

千葉支部の従来行ってきた月例研修会は、今回が最後となります。最後の月例研修会としては、私たちが顧問先と接していく上で、財務分析は第一歩ではないかという観点から税理士の資格を持っておられる山下会員に締めくくって頂くことに致しました。千葉支部では、支部会員を対象とするだけでなく開かれた講座を目指しており、今回は東京支部、南関東支部の会員の方たちにも参加して頂く研修会となりました。

山下会員は航空会社勤務の経験から航空業界の経営と照らし合わせて、具体的に分かりやすく説明され、出席された方たちは良く理解されたことと思います。講義内容は以下の項目で進めてもらいました。

1. なぜ、財務管理を学ぶのか？
2. 損益分岐点分析でみる限界利益
3. 決算書の見方
4. 収益性・安全性・生産性・成長性の理解
5. 経営分析 JAL・ANA 財務分析比較

先ず、最初に旅客機のcockpitの画像から、cockpitの計器類をどうコントロールして安全な飛行が出来るのかが説明されました。機長がcockpit内での操縦を如何に取り行っていくかは、経営の管理にも繋がって行くことを聞かされました。次に株式会社と会計制度の仕組みから、財務会計に関する基本的事項の説明。

企業が健全な経営活動を行っていくための注意事項、又コンサルタントとしての視点で注意すべき点は何かを強調されました。要約しますと、以下のようなことでした。

- ①損益分岐点を見出す。
- ②限界利益率に注目。
- ③損益計算書から変動損益計算書にどう作り変えて行くか。

これらの説明を通して、「この会社が伸ばせる分野は何か、是正しなくてはならない改善点」は何か等を見極めること。それには、自己資本比率・負債比率、流動比率・当座比率、固定比率・固定長期適合率などのデータ分析を比較することで深意を読み取る。他にも貸借対照表、損益計算書に直接表現されない部分に対処する為に、自社分析・他社分析が欠かせない旨の講義をされた。

最後に、山下会員が勤務されていた全日空と競合の日本航空の財務内容を比較した上で航空機業界の現状を分析、披露され今後拡大傾向にある格安料金の航空機会社の動向にも触れられ、今、航空業界会がどういう環境下にあるかが良く分かりました。



9月度 研修会

平成 23 年 9 月 24 日(土) 15:00~17:30

場 所 船橋市 中央公民館

テーマ コンサルタント実践セミナー

講 師 鈴木 伸一 会員

参加者 高野充昭、鶴岡充昭、林 久雄、山下恭司、熊坂清弘、大塚亜喜雄、西村 豊、新見健司、山田 一

今回の研修は、企業内経営士やこれから経営コンサルタントとしての職業に就く方を対象としたコンサルタント実践セミナーを開きました。コンサルタントとしての心構え、どのようにコンサルタントとしての業務開拓をしていくか、大変興味ある内容でした。鈴木会員が話してくれました概要は、以下の通りです。

1. コンサルタント実践セミナーの目的
2. コンサルタントの仕事（企業向け：経営コンサルタント、業務コンサルタント、業種コンサルタント、技術コンサルタント、研修コンサルタント、個人向け：人事コンサルタント、転職コンサルタント、独立支援、ファイナンシャル・プランナー）
3. コンサルタントになるには（・まず、自分を知ること・自分の専門分野を持つ・目標を立てる）
4. コンサルタントの目標（・いくら稼ぐか・どのように稼ぐか・計画を立てるーいつまでに？）
5. コンサルタントに必要な力（専門コンサルタント：専門分野の業務や業種の知識、情報収集力、営業力）
6. コンサルタントの顧客（・経営士のコンサルティング対象・顧客を知る）
7. 事前準備（・基礎力をつける・専門分野の文書「、図解を準備・会社の業務の理解・最低限の開業、経理決算、納税の仕組みの理解）
8. コンサルタントに一番必要なのは「営業力」である。
9. コンサルタントが守ること（・守秘義務・顧客主義・現場主義・探求主義）
10. コンサルタントの仕事は中小企業の問題点を改善することである。

「人材がない」「資金がない」「技術力がない」「組織力がない」「戦略がない」「計画がない」「規定・マニュアルがない」⇒この「ない」をいかに改善していくかがコンサルタントとしての仕事で

ある。

これらの問題の根底には「人間的」という要素が加味されていなければならない。

1 1. コンサルタントの必須能力

- ・ 話題・教育、研修・訓練、トレーニング・調査、分析・報告、レポート・プレゼンテーション

1 2. コンサルタントの知識・能力

経営分析はコンサルタントにとって必須のものである。

- ・ 固定費と変動費文会、損益分岐点分析
- ・ 財務分析手法
- ・ 定性分析

経営コンサルタントとして必ず頭に入れておかねばならない基本的事項を詳細に説明頂き、大変勉強になったセミナーでした。



コンサルティング研究会活動の報告

第1回

平成23年3月20日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 平成22年度収支決算監査
2. 平成23年度予算について
3. 千葉県経営者協会第123回経協フォーラムにおける当研究会の講演について

第2回

平成23年5月29日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 千葉県経営者協会第123回経協フォーラムにおける講演の準備
 - (1). 講演会参加者に対する事前の要望・質問の確認
 - (2). 千葉県経営者協会事務局とのコラボレーション
 - (3). 今後のスケジュール打合せ

第3回

平成23年6月26日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 千葉県経営者協会第123回経協フォーラムにおける講演の準備
 - (1). 講演用パワーポイント原稿のチェック
 - (2). 千葉県経営者協会事務局とのコラボレーション
 - (3). 今後のスケジュール打合せ

第4回

平成 23 年 7 月 10 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 鶴岡義明、大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 千葉県経営者協会第 123 回経協フォーラムにおける講演の準備
 - (1). 講演用パワーポイント原稿のチェック
 - (2). 千葉県経営者協会事務局とのコラボレーション
 - (3). 参加者数確認

第5回

平成 23 年 8 月 28 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 千葉県経営者協会第 123 回経協フォーラムにおける講演の反省
 - (1). テーマについて
 - (2). 講演の進め方について
 - (3). 講演内容について
2. 本年度の経営者啓発事業の追加提案
“この混迷する不況期こそ、営業を強化しなければならない! **生産財の営業を強くするには**“
3. 今後の進め方

第6回

平成 23 年 9 月 18 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センターアナウンスブース

参加者 西村 豊、大久保 篤、林 堯夫、岩野邦久、若月英司

1. 平成 23 年度予算について
 - (1). 上期収支予定
 - (2). 下期に予定している小冊子作成料の取り扱いについて
2. 本年度の経営者啓発事業
 - (1). 小冊子取りまとめの検討
 - (2). 市川商工会議所における講演活動
 - (3). 西村支部長より外部向け研修の進め方について説明

第7回

平成 23 年 10 月 10 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センターアナウンspbース

参加者 大久保 篤、岩野邦久、若月英司

1. 社長啓発プロジェクト“間違いを直せば業績は改善する”第2弾原稿の検討
2. 市川商工会議所における講演活動

第8回

平成 23 年 11 月 13 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センター小会議室

参加者 大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、若月英司

1. 市川商工会議所における講演活動報告
2. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」内容検討
3. 次回以降のコンサルティング研究会スケジュール

第9回

平成 23 年 11 月 27 日(日) 15:30~18:00

場 所 千葉市生涯学習センターアナウンspbース

参加者 大久保 篤、岩野邦久、林 堯夫、若月英司

1. 中小企業の営業強化プロジェクト「生産財の営業を強くするには」内容検討



千葉県経営者協会第 123 回フォーラム講演会の報告

コンサルティング研究会

若月 英司

去る 7 月 19 日（火）15：00～16：30、フローラ西船 5 階「扇の間」において、千葉県経営者協会主催の第 123 回フォーラムの講演会が開催され、コンサルティング研究会の大久保 篤会員が「間違いを直せば業績は改善する」と題して次の項目で講演した。出席者は同協会会員 57 名、同協会事務局 4 名、経営士会千葉支部会員 4 名計 65 名であった。講演はパワーポイントで行い、別途テキストとして当研究会作成の小冊子「社長啓発プロジェクト 間違いを直せば業績は改善する」を配布した。

項 目：（儲かる会社に変革するための心構え）「（深く）考える→（間違いに）気づく」

I. 問題提起（儲かる会社に変革するための）

II. 間違い例（三つの間違い）

間違い 1 「利益追求が会社に繁栄をもたらす」という間違い

間違い 2 「コストを削減すれば儲かる」という間違い

間違い 3 「まとめて処理すれば安くなる」という間違い

III. まとめ（「なぜ成果が出ないか?」「なぜスピードが上がらないのか?」～

「考える→気づく→行動する」）

この度の講演に対して同協会専務理事 花沢和一氏より次の感謝状（原文のまま）をいただいた。

平成 23 年 7 月 20 日

社団法人 日本経営士会 経営士
大久保 篤 様

社団法人 千葉県経営者協会
専務理事 花沢 和一

拝啓 時下ますますご清勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度はご多忙中のところ、弊協会「経協フォーラム」においてご講演賜りまして誠にありがとうございました。

身近な業績改善を具体例をもとに、大変わかりやすく解説いただいたと参加者から大変好評を博しました。利益よりもキャッシュフローを重視することと、従来の常識からの脱却の重要性を痛切に感じました。

また、ご多忙のところ、懇親会にもご参加いただきましたことを、関係者一同、心から喜んでいところでございます。

末筆ながら今後のご健勝とますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

まずはとり急ぎ御礼まで。

敬具

講演終了直後には、同協会副会長の平山建設(株)代表取締役会長 平山金吾様からも講演に対する謝辞をいただいた。また、講演会後の懇親会において、数名の同協会会員から本テーマ第2弾の講演を希望する声があり、当研究会の経営者啓発事業として取り組んでいく予定である。

昨年春、大久保篤会員から今回の講演の元になる原稿が当研究会に提案されてから、約4ヶ月の研究会における検討が行われた。内容が現在の企業経営者の意識に合ったものか、企業経営者に理解していただくために表現の仕方は適切か等々、具体例を出来る限り盛り込んで解りやすくをモットーに小冊子にまとめることとした。

小冊子の原稿が出来た後、内容が当研究会の自己満足になっていないか、某中小企業経営者に目を通していただいた。また、出来上がった小冊子を千葉県産業振興センター経営支援部長にも目を通していただき、「問題のとらえ方というか切り口が斬新で、テーマを逆説的に表現しているところは経営者にアピールするだろう」と評価をいただいた。

この度の講演会も地域企業経営者との交流の場として、当研究会メンバーが現在の地域企業の実態を身を以って知る良い機会となり、この場を与えていただいた(社)千葉県経営者協会に感謝している。

この度の講演会で講師をさせていただいたことは、当研究会発足以来の「地域企業の実態をよく観察し、経営者のことばに耳を傾け、地道に研究を重ねて、その研究成果を地域企業の業績改善に貢献する」という先輩諸氏からの姿勢を貫き通す役割が果たせたのではないかと考えている。

今後とも、当研究会は地域企業のために貢献できる諸課題を取り上げ、その研究成果を地域企業に役立つように活動していく予定である。

(文責 若月英司)



農業・観光研究会活動の報告

■ 農業・観光研究会

農業観光研究会は、現在フィールドワーク等、外部活動に力を注いでおります。農商工連携を柱とした新ビジネスの種まきと準備活動を行なっております。詳しくは12月17日の研修会で発表いたします。ぜひご来場ください。

活動日	活動内容
4月18日(月)	千葉県農林水産部生産販売振興課との取組開始(県庁にて打合せ)
5月23日(月)	2011年度の活動について検討
6月3日(金)	いすみ鉄道訪問(夷隅郡大多喜町での町興し提案:大多喜祭りで薪能)
6月10日(金)	大多喜町長を訪問し、秋の大多喜お城祭りでのイベント(薪能)提案
7月1日(金)	関東農政局 関東地域六次産業化フォーラムへの参加
7月18日(月)	千葉県農林水産部担い手支援課アグリトップランナー育成事業参加応募企画検討
8月1日(月)	入札プレゼンテーション(本年度で2年目のトライでしたが、結果は不採用)
9月20日(火)	千葉県農林水産部販売振興課、第一回6次産業化研修会打合せ 千葉県商工労働部訪問、夷隅地域町興しの支援依頼
9月24日(土)	県入札結果報告。ちばの「食」産業連絡協議会への参画決定
10月8日(土)	パラダイスファーム木更津、農業生産法人千葉農産訪問、ファーム見学
10月24日(月)	第一回6次産業化研修会講演会実施(高野会員の講演:生産者向け)
11月3日(木)	㈱千葉農産訪問、千葉県産業振興センターの農商工連携担当者同行

1. 千葉県農林水産部へのアプローチ

食材・食品に対する消費者ニーズが多様化してくる中、ちばの農林水産業はそのニーズに対応すべく、加工開発にもっと力を入れて行く必要がある。その為には、これまでの農商工連携に加え、生産者と加工業者を結ぶ6次産業化的な考え方を進めていくことでビジネスチャンスを広げていくことで可能となります。

ちばの「食」産業連絡協議会への参加

設立 平成18年7月12日

構成団体 会長：石井健太郎(石井食品株式会社代表取締役会長) 他34団体

事務局 千葉県農林水産部生産販売振興課販売流通対策室

同 商工労働部産業振興課新産業創造室

ちばの「食」産業連絡協議会、23年度の活動

- ① 各業種間での情報共有できるシステムの構築により6次産業化の促進
- ② 消費者ニーズを反映した6次産業化の実現
- ③ 参加団体

全農千葉県本部、全国農業協同組合連合会千葉県本部、千葉県畜産協会、千葉県漁業協同組合連合会、農林業総合研究センター、ぐるなび、千葉県食品工場協議会、千葉食品コンビナート、京葉食品コンビナート、千葉県水産加工業協同組合連合会、千葉県菓子工業組合、千葉県酒造組合、千葉県漬物工業協同組合、ちばぎん総研、流通研究所、**日本経営士会**、千葉銀行

生産者向けミニ情報交換会の開催（午前中に加工業者向けの開催あり）

日 時 平成23年10月24日 13:30～15:40

会 場 プラザ菜の花

主 催 ちばの「食」産業連絡協議会

参集範囲 ちばの「食」産業連絡協議会 会員および会員団体傘下の企業の担当者及び技術者、6次産業化に興味のある生産者、JA担当者、市町村担当者、各農業事務所、その他関係機関等

内 容

13:30 石井会長挨拶

13:40 趣旨説明

13:50 「6次産業化とは」 講師：宮崎秀和(ちば6次産業化サポートセンター)

14:30 質疑応答

14:40 休憩

14:50 「6次産業化とは」 講師：高野充昭(日本経営士会)

15:30 質疑応答

15:40 終了

事務局 ちばの「食」産業連絡協議会

県農林水産部 生産販売振興課 販売流通対策室（千葉市中央区市場町1-1）

担 当：北野 TEL 043-223-3085 FAX 043-222-5713

2. 千葉県アグリトップランナー育成事業への参加

昨年で3年目を終えひとまず終了したと言われていた千葉県農林水産部担い手支援課のこの事業は、平成23年度から新たに3年計画で規模を少し縮小したかたちで継続実施されることが決定した。委託額550万円で6月29日から7月26日までの期間で募集が開始された。農業・観光研究会では昨年、初回チャレンジとして入札にトライしたが、神奈川県株式会社流通研究所に取られてしまい、今年は何としてでも落札したいという意気込みで、企画の検討に入った。

参画者：高野充昭、山田一、千葉道生、新見健司、山下恭司、西村豊

今回は、3回の講演会開催の中で「動機づけ」「各論」「各論」と、ある意味ストーリー性のあるセミナー企画を実施し、更には個別農業経営体への「経営革新サポート」と称し、個別訪問によるコンサルティングが主となる事業の予定であった。企画書提出後、8月1日（月）13:30より千葉ビジネス支援センター（きぼーる）でのプレゼンテーションを行った。しかし結果は、残念ながら、昨年同様株式会社流通研究所が落札してしまった。

3. 千葉県夷隅郡大多喜町での町興し提案 ～大多喜祭りで薪能を～

研究会の中で観光の部では、昨年12月に「いすみ鉄道株式会社」の鳥塚亮社長のご協力で、千葉県経営者協会との共催という形で公開講演会を開催。更に今年5月に開催した「報告会」での基調講演では、「ちばが世界に誇る伝統的文化の継承」というテーマで、能楽師シテ方観世流九世の橋岡久太郎さまに御越し頂き、記念講演会実施した。いずれも当研究会の山田一会員のご人脈によるものでしたが、このお二人が、ユーカリが丘のお住まいのご近所だということが分かり、講演会後の懇親会では、「大多喜町で、薪能をやろう」ということで話が決定。その推進役には自ずと「日本経営士会千葉支部」が立つことになった。

そのような経緯で我々研究会では、町興し活動のひとつとして「夷隅郡大多喜町の町興し」に取り組むことにした。活動としては、まずは毎年秋に開催される「大多喜お城祭り」でこの「薪能」を実施出来ないだろうかということで、山田会員と山下会員が一緒になって大多喜町役場や地元の青年部、おかみさん会、大多喜高校などを精力的に回って説得してまいりましたが、何と言っても地元の方々の「何とかしなければ」という気持ちがないと前には進めません。各所ではご提案に対し大変興味を持っていただいているようだが、各々がもっと横で繋がり、町全体が一つになってくれるまで、時間をかけてでも是非実現していきたいと考えています。

4. ファーム見学会による農業生産者との接触

農業観光研究会では、昨年、日本経営士会が中小企業全国中央会より受託した「農商工連携等人材育成事業」セミナーの千葉会場を担当させて頂き、26名の修了者を輩出致しました。今年に入り、補正予算枠での2次募集には、経営士会からは、北海道支部、近畿支部、中国支部が参加しているが、そのなかでパソナさんも受託企業に入っており、私（西村）は昨年主催者側で学んだ知識の補足学習を目的にパソナさんの研修会に参加。その中で、木更津にある平野商事さんが農業事業として経営している「パラダイスファーム木更津」という農場の加藤マネジャーと知り合い、農場見学をさせて頂くことになった。

木更津ファーム見学会

日時 2011年10月8日（土） 13:00～16:00

場所 パラダイスファーム木更津

〒292-0812 千葉県木更津市矢那 1528-22

ファームマネジャー 加藤 正俊 080-6592-7224

参加者 高野充昭、山田一、新見健司、鶴岡義明、林久雄、八代譲、西村豊

研修会の中では、ロールプレイングの時間にご一緒させて頂き、ご自身の農場での将来考えるビジネスモデルについてメンバーと話し合い発表させて頂いたが、実際現地では、将来農産物の生産だけではなく、園内に加工設備を導入し、2次、3次加工を行って出荷をすることを検討されているようである。今回、こちらが様々な勉強をさせて頂き、千葉支部としては、前記ちばの「食」産業連絡協議会での「ミニ情報交換会」に是非参加して頂きたいというお願いをする。今後は6次産業化推進の一環で、モデルファームとしてご協力頂けるのではと考えている。



パラダイスファーム木更津の見学を修了し、加藤マネジャーのご紹介で、近くにある農業生産法人株式会社千葉農産という農場をご紹介頂くことになり、車で現地に向かう。

農業生産法人 株式会社千葉農産

所在地 千葉県富津市篠部 1251

TEL. 0439-87-0132 FAX. 0439-87-0132

代表取締役 白石 真一

資本金 1000 万円

設立日 平成 12 年 4 月 27 日

従業員数 45 人（臨時職員含む）

事業内容 農畜産物の生産、加工、販売

花卉・園芸用品の生産、加工、販売

農作業の受託、請負、委託

農地の保有、管理、開拓 竹林整備 竹製品製造

野菜残渣引取 堆肥入れ請負



<http://www.chibanousan.com/>

<事業内容と研究会としての取り組み>

新日鉄より 110h a の山林を購入、「大鷲里山ファームビレッジ」として現在、イベント会場や、キャンプ場、バーベキュー施設など開発が進んでいるが、この山林開拓から、排出される様々な資源をリサイクルし、循環型環境社会に貢献する事業を策定されている企業である。既に具体的に支援してほしい事業の提案を頂いており、研究会の中でも早急に支援の内容を具体的につめていく段階に来ている。

今後、農業観光研究会や環境経営研究部会も絡んで頂けるとさらにビジネスとして幅が出てくるし、会員の皆様の積極的な参加をお願い致したいと考えている。(西村 豊)



第45回 全国研究会議 鹿児島大会 参加報告

第45回全国経営士会議 鹿児島大会 が平成23年10月15日(土)、16日(日)の2日間「100年続く企業づくりと経営士の役割」をテーマに九州鹿児島の城山観光ホテルにおいて開催されました。本年は日本経営士会の60周年の記念の年ということもあり、昨年から開催されたイノベーション・アワードを併催する形で行なわれています。

九州南端の鹿児島に250名もの多くの会員、イノベーション・アワード参加者、一般参加者などが参集し、あいにく天気には恵まれませんでしたが活気ある大会となりました。

主管である山内九州支部長のごあいさつをかわきりに、実行委員長である鹿児島県会 城ヶ崎実行委員長、佐藤会長とあいさつが続き、来賓祝辞がありました。

今回、60周年を記念して、永年在籍会員の表彰をいたしました。会場では30年、40年、50年超の在籍会員が表彰され、残念ながら参加はされておりましたが、近畿支部の遠藤繁儀会員は60年間在籍をしているとのこと。つまり会の創設当時の会員ということになります。

例年通り10回、35回、45回の全国研への多数回参加者の表彰も行われております。近畿支部の阪井正三会員は全国研究会へ45回参加されているということですから、これまた皆勤ということですので大変な記録です。またMPP高単位取得者としては、200単位取得者として塚本会員(北関東支部)、100単位取得者として日野会員(中部支部)が表彰されています。

今回は会員特別表彰として、東京支部の山下孝行会員が会へ多額の寄付を行なったということで表象されております。

続いてイノベーション・アワード2011表彰式では、第1回受賞者である飯森範親様、選考委員長野々内隆様よりごあいさつをいただいた後、表彰式がとり行われました。

今回は努力賞10件、特別賞10件、優秀賞5件、会長特別賞1件、大賞2件が表彰されました。

大賞のいすみ鉄道株式会社様は、当千葉支部が推薦したもので、経営が難しいとされる地方ローカル鉄道にあって、地元の風景に同化したキャラクターの導入やユニークな発想をもとに、地域と連携して観光ビジネスなどの周辺事業を飛躍的に成長させ、また地域住民の生活インフラである鉄道事業の存続に貢献していることを高く評価されて表彰を受けております。

同じく大賞の静岡産業大学様は、地元の産業界や他の大学との連携など産学官での積極的な交流を行い、職業人・社会のリーダー育成をミッションに掲げて「県民の大学」「大化け教育」を実践し、多くの卒業生を地元産業界に輩出するなど、地域社会への貢献に加え定員充足と高い就職率で健全な大学運営を実現していることを高く評価されての受賞をしております。

大賞を受賞したいすみ鉄道の鳥塚社長は、来年開業100年を迎える時代の変化に取り残され、赤字のローカル線廃止の筆頭だったいすみ鉄道を、地域の原風景であり観光鉄道として乗らなくても残して欲しいと訴えられていた。静岡産業大学の坪学長は、大学にイノベーションがなく問題が多いからこそ仕事がたくさんあり、不況の今がチャンスであり静岡から次世代のソニーをつくろうと訴えておられたのが印象的であり

ました。また日本経営士会から、この賞ができたことこそがイノベーションであると皮肉交じりに語っておられました。

これらのあいさつを受けて佐藤会長は、指導ではなく中小企業零細企業に経営士が伴走することが日本の再生に必要であるとあいさつされ、日本経営士会の今後の方向性を示しております。

記念講演としては、地元鹿児島県の焼酎メーカーである本坊酒造株式会社の代表取締役社長 本坊 修 様より「100年続く企業づくり」と、全国研の会場である城山観光株式会社 代表取締役社長 伊牟田 均 様より「鹿児島観光産業の展望」の2つのテーマについて行われました。

本坊様は100年に渡る事業継続の難しさや事業承継の手段、城山観光ホテル伊牟田様は鹿児島が抱える観光産業の問題点と新幹線開業にともなう重要開拓など適格な手法についてご紹介いただきました。

初日の楽しみは懇親会ですが、城山観光ホテルの全面的な協力のもと、地元鹿児島県の海の幸、山の幸をふんだんに使った会食と、薩摩焼酎の美味しさをしっかりと堪能させていただきました。地元小学生プラスバンドのジャズ演奏や奄美空手の演舞など、力のこもった出し物も多く、夜のふけるのも忘れるほどでした。

2日目は、論文発表会が3つの会場に別れて行われました。それぞれ従来と違いより実践的で変化を感じさせる内容でした。

閉会式では MPP、コンパクトエコシステムなどの発表の後、次回開催地である埼玉支部の上野実行委員長「全国研が変わる」とのコンセプト発表で新たな変革の予感をもって全国研究会議 鹿児島大会は閉幕しました。

最後に本大会の開催にご尽力いただいた山内九州支部長をはじめとする九州支部の皆様のおもてなしがすばらしく、実行委員長の城ヶ崎豊海会員をはじめとする実行委員の努力の賜物であると深く感謝したいと思います。



研修、研究会実施のお知らせ

◇研修会のご案内

2月

日時 平成24年2月25日(土) 15:00～17:00

場所 船橋中央公民館 第7集会室

テーマ セールスレップ、販路コーディネーターの資格の取得講座開催の薦め

講師 セールスレップ協会 北 賢治 常務理事

営業のプロとしてのセールスレップ及び販路コーディネーターの資格が注目を浴びています。

このたびセールスレップ及び販路コーディネーターの資格検定を実施しておりますセールスレップ協会から千葉支部へ、両資格の取得講座の開催について委託をしたいとお話がありました。取得講座の開催にあたりましては、講師の養成などハードルがありますが、安定した収益源のひとつとして検討にあたりたいと思われまますので、ぜひ支部会員の皆様にも情報を提供いたしたく、セールスレップ協会常務理事（経営士 東京支部）である北 賢治 氏に説明をお願いいたしました。

みなさんも将来性豊かな資格研修を教えてみませんか。ぜひご参加ください。

3月

この度ビジネスイノベーションアワード2001で大賞を受賞いたしました、いすみ鉄道様の見学会を3月に行うことを企画しております。菜の花が咲きみだれる春のいすみ鉄道の乗車とを中心とした研修を行います。お楽しみにご期待ください。

(詳細が決定し次第、メーリングリスト、会員向けブログに掲載いたします)

年末研修会／懇親会(12月) 出席連絡

(社)日本経営士会 千葉支部

総務担当 鈴木 伸一 宛

Tel : 090-5446-2808

会員氏名 _____

Fax : 04-7133-1303 出席ご希望の方は12月15日までにご連絡願います。

出席を次の通り連絡します。(該当欄に出席は○印、欠席は×印をご記入下さい。)

	研修会／講演会	懇親会
平成23年12月17日 出席	参加・不参加	参加・不参加
月例／懇親会		

会場などの急な変更は支部会員向けブログにてお知らせしています。各研修会に出席する際は、支部会員向けブログをご確認の上ご来場ください。千葉支部会員向けブログ <http://keieishi-chiba-info.sblo.jp/> メールアドレスを変更した場合は、メールアドレスをお知らせください。